

# 文化庁 令和4年度第2次補正予算の概要

## I. コロナ禍からの需要回復、地域活性化

### ○統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2) 100億円

大規模で質の高い公演等の実施や配信を行う全国規模の文化芸術統括団体を支援するほか、地域の文化芸術を振興する地域の文化芸術団体・芸術家等を支援する。

### ○子供の文化芸術の鑑賞体験等総合パッケージ 18億円

学校における文化芸術の鑑賞・体験機会や地域における伝統文化等の体験・修得機会を提供するとともに、劇場・音楽堂等における子供の実演芸術の鑑賞・体験機会を提供する取組を支援する。

### ○地方活性化のための文化財保存・活用支援事業 47億円

地方の活力を引き出すため、文化財を活用するために必要な防火・耐震対策を行うとともに、国指定文化財の修理・整備のうち、特に緊急性が高いものを早急に実施する。

### ○地域活性化のための伝統行事等振興事業 15億円

用具等整備など地域の伝統行事等の基盤整備を支援するとともに、相談窓口を設置して収益機能を強化する取組を促すことにより、地域経済を活性化する。

### ○国立文化施設の機能強化 15億円

国立文化施設の施設整備を行い、災害に備えるとともに観覧者等の安心・安全を確保した快適な観覧環境等を実現する。

## II. 新しい資本主義の加速

### ○文化部活動改革 ～地域連携や地域文化倶楽部活動移行に向けた環境の一体的な整備～ 4億円

休日の文化部活動の段階的な地域移行と地域文化環境の一体的な整備に向け、令和5年度当初からの円滑な実施を図るため、地方公共団体が行う移行体制構築に必要な経費を支援する。

### **Ⅲ. 防災・減災、国土強靱化の推進など国民の安全・安心の確保**

#### **○国立劇場再整備 500億円**

「国立劇場再整備に係る整備計画」に基づき、首都直下地震等にも対応する施設機能を備えるとともに、伝統芸能の伝承と創造に係る機能強化、文化観光拠点としての機能強化、周辺地域との調和等を実現する。

#### **○日本芸術院施設整備事業 3億円**

日本芸術院会館において、経年劣化した屋根や堅樋を改修し、安全安心を確保する。

#### **○被災文化財の災害復旧 11億円**

令和4年発生 of 福島県沖を震源とする地震や令和4年8月1日から同月22日までの間の豪雨及び暴風雨により被災した国指定等文化財の災害復旧を迅速に進める。

<b>合</b>	<b>計</b>	<b>713億円</b>
----------	----------	--------------